

子牛のナックル

根室北部事業センター 第1家畜診療課 獣医師 杉山 友人

起立時に、このような姿勢をとる子牛を見たことがありますか？

蹄の上の関節が正常の角度を維持できず、曲がったままの姿勢をとる、「ナックル」です。

当組合において平成28年度の1年で子牛のナックルは588件発生しました。これは、決して少なくない病気です。

そもそも子牛のナックルはなぜ起きるのか？

- ・骨の成長スピードと筋肉や腱、靭帯などの成長スピードのバランスが悪くて起こる
- ・子宮内での異常姿勢
- ・遺伝的な要因

これらが原因として考えられています。



治療方法

子牛のナックルは治らない病気だと、諦めていませんか？

治療方法にはいくつかの方法があります。

今回はそれぞれの治療方法の適応・利点・欠点を交えてご紹介します。

①内服薬（筋弛緩薬：ロバキシン）

軽症の場合に適応

筋肉を緊張させている神経をしずめる作用があります。

利点：安価（約1,100円【保険対象外】）

欠点：若干の手間がかかる（1日2回経口投与5日間継続）

②物理的伸長（要するにストレッチの事です）

軽症の場合に適応

曲がった関節部分を、毎日適度な力で伸ばすように踏んであげましょう。

利点：経済的負担なし、各自で実施可能（獣医師不要）

欠点：継続的に行う必要がある

③ギプス装着

軽症～重症の場合に有効（人力でのびる程度のナックル）

ナックル部分をまっすぐ保持し、ギプスで固定する方法です。

利点：重症例でも適応

欠点：2週間程度必要、経済的負担が大きい（片肢の金額：約13,000円）



一回分ずつ分包してあります



適度な力で踏む

④ 腱切除術

重症例の場合（人力でものびないような重症例）

鎮静化で皮膚を切開し、ナックルの原因となる腱を切除する方法です。

手術後にギプス装着が必要です。

利点：重症例でも適応

欠点：2週間程度必要、経済的負担大きい（片肢金額：約17,700円）

手術なので感染のリスクあり

おわりに

子牛は元気なのに、ナックルのため廃用になってしまうのは、とても残念なことです。

上記で紹介したように治療法によって治療費に違いがあります。

総合的に判断して治療法を選択することが大切です。

治療法で迷った時は、獣医師に相談してみてもいいでしょうか？



ギプス装着



腱切除